

発言No.

15

受付No.

17

令和 3 年 11 月 19 日
10 時 45 分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 9 番

氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 人に優しい教育について

(1) デイジー教科書について

① 現在、小中学校では1人1台のタブレット端末を配備されています。本年3月定例会議の公明クラブの会派代表質問において、デジタル教科書の活用について質問し、国が令和3年度に実証事業として、小学校5・6年生と中学生について各校1教科分が無償で試せることから、浜田市でも積極的に活用し有用性を確認するとの答弁をいただきました。発達障がい児等の学習を音声や色で補助する「マルチメディアデイジー教科書」を、特別支援学級で活用している自治体もあります。実証事業の状況と浜田市での活用について伺います。

(2) ジェンダー教育について

① ジェンダーギャップ指数2020で、日本は149カ国中120位となっており、他の先進国と比べてジェンダー平等の実現が進んでいない状況です。文部科学省が公表している「性同一性障害に係る児童生徒に対する学校における支援の事例」では、自認する性別の制服・衣服や体操着の着用を認めるなど、生物学的な性別ではなく、自分が認める性別で生活できる取組が挙げられています。このことを進めるには私たち大人の意識改革も大変重要だと考えていますが、子どもたちにも早い段階から多様性を認める心を育てたいと思います。浜田市のジェンダー教育の現状と今後の取組について伺います。

2. がん検診について

(1) 受診率向上の取組について

① 厚生労働省は、子宮頸がんなどの主な原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）感

感染症を予防するワクチン接種後に、体の痛みなどを訴える声が相次ぎ、2013年6月に積極的勧奨を中止していました。接種勧奨中止の間も公費による定期接種は維持されていましたが、接種を促す個別通知などができないため接種率は低迷しています。厚生労働省は8年ぶりに接種勧奨を再開する方針を示したとのことですが、勧奨中止期間の接種状況と、子宮頸がんの発症への影響について伺います。

3. 環境問題について

(1) 情報発信について

- ① ごみカレンダーをスマートフォン等で確認できるように検討していると伺っていましたが、進捗状況を伺います。
- ② 浜田市環境基本計画の48ページに情報の提供の項目があります。様々な情報をホームページなどから容易に検索できるような仕組みが必要と記載されていますが、わざわざホームページに入って検索される方は少ないように感じます。地球温暖化対策は市民の皆様のご協力がなければ進まないことから、市民の皆様に取り組んでいただきたいことを、具体的に示す必要があると考えます。アプリを活用して積極的に発信する方が効果的だと思いますが、検討されているのか伺います。

4. 危機管理について

(1) 遊具について

- ① 老朽化により使用ができなくなっている遊具には、危険なので使用しないようにとの注意看板等が設置されていますが、修繕されるでもなく、撤去もされず残されているものがあります。危険であると判断され修繕しないのであれば、撤去するなど早めに対応する必要があるのではないかと考えます。現在、使用中のまま放置されている遊具の数と今後の対応について伺います。

(2) 豪雨災害について

- ① 市道沿いなどで、大雨の際に家屋等への浸水が度々発生するような場所については、しっかりと対策を行っていただきたいと思えます。すでに対応して頂けると聞いている場所もありますが、今後の対応方針を伺います。

5. 女性活躍推進について

(1) 地域女性活躍推進交付金について

- ① 国はコロナの影響で様々な問題を抱えている女性に対する支援策として、令和2年度から地域女性活躍推進交付金の事業を行っており、令和3年度も予算が計上されています。活躍推進型・寄り添い支援型・つながりサポート型の3つに区分されていますが、

つながりサポート型については5月28日に受付終了となっていました。その後追加募集が行われ、この締め切りも11月26日となっております。浜田市でも検討されたのか伺います。